



サマースクール 2019 ～ 報告～

期日：令和元年8月3日（土）

場所：熊本県立盲学校



<デザイン「あ」展>

本校児童も含め、中学生1名、小学生6名、幼児1名で県立美術館で開催されている「デザインあ展」に行ってきました。「見る」「聞く」「触る」などの体験を通して様々なデザインを楽しむことができました。

市電の中や美術館の中で自然と単眼鏡やiPadを出し、見たものを友達と共有しようとする姿が見られました。見えにくさのある友達と一緒に活動することで単眼鏡を使うことに抵抗感がなくなったり、自分がどのような単眼鏡を使っているか友達に説明したりしていました。

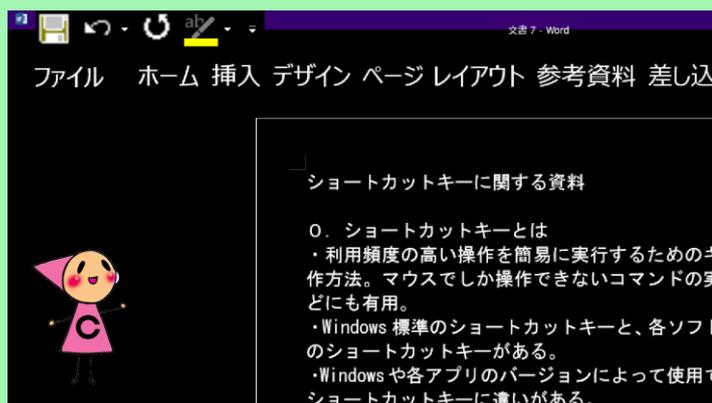
行き帰りは市電で移動しましたが降りる電停が近づくとお互いに確認しながら手帳とお金を準備してスムーズに乗り降りすることもできました。



< ICT 活用 >

今回は、アクセシビリティ機能の設定方法と、ショートカットキーについて学習しました。アクセシビリティ機能では、PCやアンドロイド画面の見えにくさを補うための、画面やマウスの拡大、色の反転方法等を確認しました。ショートカットキーは、Windows と Office でそれぞれよく使うものを紹介しました。今回の学習で特に強調したのは、「画面を見やすい設定に変更して、適度な視距離をとり、良い姿勢で作業する」ということです。長時間の作業では出来るだけ目や身体に負担にならないようにしたいですね。

参加された方は、既にご自身のノートパソコンを趣味や学習で使われているとのことで、理解が早くどんどん操作していました。見学に来られた先生方からも活発な質問をいただき充実した時間になりました。



〈視覚障がい疑似体験・座談会〉

視覚障がい疑似体験では、保護者さんを対象に、シミュレーションレンズでの歩行体験、アイマスクを着けた白杖歩行、視覚補助具を使った読み、教材・便利グッズ紹介を行いました。白杖歩行では「予想以上に難しい」と声上がり、読み体験ではルーペや単眼鏡の使用による疲れを実感されていました。これらの体験を踏まえ、子どもたちへの支援について考えて頂ける良い機会となりました。



疑似体験の後は、以前サマースクールに学生として参加されていた、筑波技術大学4年生の秋吉桃果さんお招きし、座談会を行いました。幼稚園から現在に至るまでを振り返り、悩みや心持ち、見えにくさなどを補うために工夫していることなどについて話をしてくださいました。

参加した方からは、「自分の気づかなかったことをたくさん教えていただきました。」との感想や、保護者の方からは、「講演、素晴らしかったです。先輩が歩まれてきた軌跡を追体験することにより、今後こんなことが起こるだろうと予想できたり、明るく前向きに生きていらっしゃる姿を見て、未来に大きな希望を持つことができました。」などの声が寄せられ、大変充実した時間となりました。



〈アンサンブル演奏会〉

午後からは盲学校アンサンブル部メンバー8人とOB・OGによる演奏会に参加していただきました。今年度新しくできた共同教室棟で開催し、サマースクールに参加された皆さんを含めて、約260人の方々に演奏を聞いていただきました。演奏会では、リトルマーメイドのポップな曲や厳かなバッハの曲、グラスティル作曲の現代曲という幅広いジャンルで12曲がマリンバなど約15種類の打楽器によるアンサンブルが披露されました。「とても感動しました。素晴らしい演奏をありがとう」「一生懸命な姿に感激しました。」「心に残る演奏をありがとう」などのメッセージを頂きました。



〈機器展示〉

県内の眼鏡店からヨネザワ様、大宝堂様、また遮光レンズの東海光学様、HOYA様にお越しいただきました。補装具や日常生活用具の概要について丁寧に御説明をいただき、多くの方が様々な支援機器を実際に手にとって体験されていました。

本人と保護者の皆さんが実際に説明を受けながら体験することで、支援機器の有用性を体感でき、学習や生活環境を整える良い機会となりました。

★多くの皆様のご参加ありがとうございました！★